



期待と不安を抱いて — 保育所や小・中学校で入園・入学式 —

4月初旬に町内の保育所や小中学校で入園・入学式が執り行われ、新入生らが期待と不安を胸に、式に臨みました。新型コロナウイルス感染症予防のため、出席者を限定し、マスク着用・アルコールによる手指消毒を徹底。式次第も縮小した形で挙行されました。

内原保育所(川端雅子所長)では、園児と保護者が出席。川端所長からは、「保育所生活では楽しいことがたくさん待っています。もし困ったことがあれば、先生やお兄さん、お姉さんを頼ってね」とお祝いの言葉が贈られました。

内原小学校(川端浩次校長)では、保護者に見守られながら新入生が入場。川端校長からは、「元気な挨拶をする、話をよく聞き最後まで頑張る、安全に気を付ける、この3つをできる子になってください」とメッセージが贈られました。

日高中学校(柴田耕治校長)では、新入生が緊張した面持ちで入場。柴田校長からは、「一日一日を大切にして、充実した学校生活を積み上げていってください」とエールが贈られました。



内原小学校



日高中学校



内原保育所

鳥獣保護管理に尽力 —早稲田昭雄さんに感謝状—



3月24日(火)、鳥獣保護管理員として50年間活動してきた早稲田昭雄さんに、松本町長から感謝状が贈られました。

早稲田さんは、昭和44年4月に鳥獣保護管理員に県から委嘱され、50年にわたり活動。狩猟自粛期間での違法ワナ設置の監視、鳥獣保護区の管理、有害鳥獣捕獲時の捕獲許可への助言などに従事されてきました。

松本町長は「長きにわたり鳥獣保護管理員として地域の安心・安全を守っていただき、ありがとうございます」と感謝を述べ、早稲田さんは「事故なく長年勤めてこられたのは皆さんの協力のおかげです」と話していました。

合同展示会を開催 —切り絵の会・放課後子ども教室—



3月26日(木)～4月3日(金)の間、日高町切り絵の会と放課後子ども教室の合同展示会が中央公民館1階ロビーで開かれました。

この展示会は、切り絵の作品を通して放課後子ども教室の活動に興味を持ってもらおうと企画。切り絵の会の玉石会長は同教室で切り絵の指導者を務めており、玉石会長の指導のもと作成した児童らの作品20点とともに、切り絵の会会員からも作品12点が出展されました。児童らの作品には、犬や猫、チューリップなど、会員らの作品には菜の花やおひなさまなどが並びました。